

【地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業】（協働実践事業）

〈令和4年度採択事業：令和5年度継続〉

実施報告

中間報告

「ございん八木山」プロジェクトによる 地域課題解決・活性化事業



▶ (一社) ございん八木山

▶ (R4) NPO法人 まちづくりスポット仙台

▶ (R5) 東北工業大学 暮らしの共創デザイン研究所

(phase 1)

(phase 2)

ございん八木山運営に関する協力関係 令和4年度 <summary>

【ございん八木山】 (八興 (老人) クラブ)

➡ **会員数 81名** (10月現在)
 ※4月当初は94名であったが、死亡・施設入居、コロナによる活動が出来ない等のために13名減。

➡ **無事、一般社団法人を設立!**
 「一般社団法人 ございん八木山」として8月2日に登記しました。

➡ **7月に試験運用がてらプレイベント開催!**
 ※法人設立や一軒家の譲渡契約が家主のご事情などにより後ろ倒れたため、運用の様子を見るためにもまずは試験的に「ただもん市」を好日庵スペースで開催

➡ **無事、一軒家の譲渡契約完了!**
 ※法人が成り立ったことで、8月28日に正式に譲渡完了。9月上旬にはハウスクリーニングも終わり、法人の名義で「わいわい会議」の開催が可能となった。

➡ **無償譲渡会「ただもん市」は7回実施**

➡ **会員獲得数**
 個人正会員16名 個人賛助会員23名
 賛助金を含む会費収入合計 200,000円
 ※自然体で募集しているが、今後は団体正会員の獲得に力を入れ、社団法人の経営参画者をいかに増やすかが課題

【NPO法人 まちづくりスポット仙台】

➡ **正会員数 個人14、団体3** (10月現在)
 ➡ **賛助会員数 個人99、団体14** (10月現在)

➡ **法人設立にあたって定款作り等をサポート**

※司法書士さんとともに定款をチェックし合い、仲間を持続的に増やしていくための会費の仕組みなどを決定した。他に入会届やお礼状など、各種書式も共有し、オリジナルの作成を進めた。

➡ **一軒家が使えるまでただもん市をサポート**

※一軒家の譲渡が9月上旬に後ろ倒れたことから、プレイベント～第1回・第2回ただもん市を手伝いつつ、今後の展望や課題について整理を行った。

➡ **わいわい会議 (居場所づくりWS) は4回実施**

➡ **WSからの意見をもとにあるべき居場所について方向性をレポート**

◆令和4年 ただもん市及びワークショップの実施状況

月	ただもん市	ワークショップ (まちづくりスポット仙台)	ワークショップ (ただもん市)
7	プレイベント		
8	第一回		
9	第二回	東北工業大学	
10	第三回	八木山中学校生 八木山商店街夏祭り (ANNEX)	
11	第四回		どんぐり・松笠WS
12		八木山東町内会	
1	第五回	医療福祉関係者	
2			
3	第六回		

ただもん市の開催状況	八興クラブ	八木山東町内会	チラシ対象 八木山地区	地区外	合計	ダブルカウント	ws	募金額
2023/7/31プレオープン	9	32	32	16	89	27		2,811
8月28日第1回ただもん市	23	13	31	61	128	50		11,236
9月25日第2回ただもん市	11	4	39	33	87	41		12,868
10月30日第3回ただもん市	20	16	34	49	119	7		20,754
11月27日第4回ただもん市	12	13	30	50	105	62	12	12,358
1月29日第5回ただもん市	6	5	22	31	65	48		6,925
3月26日第6回ただもん市	5	4	27	28	64	49		6,319
合計	86	87	215	268	657	284	12	73,271

来場者総数	寄贈者	譲渡者
657人	297人	360人

※総来場者(657人)からダブルカウント(284人)を差し引いた**ネットでの来場者数は373人**

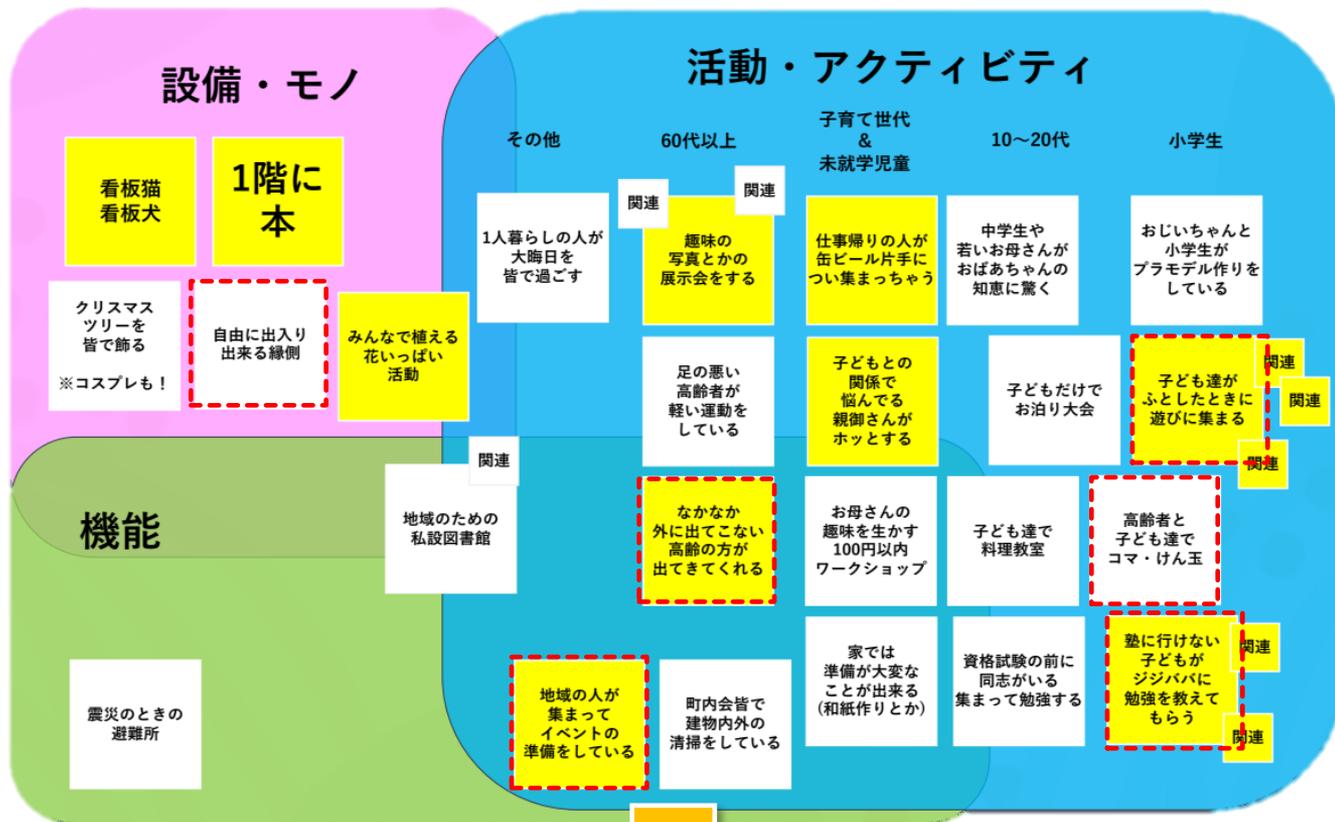
◆令和4年 わいわい会議(居場所づくりWS) 計4回(84h)

【目指す姿】

1:全ての世代が「誰も取り残さない地域の居場所」を楽しく考えられる場に

2:わいわい会議を通して、WS以外の日にも気軽に拠点に遊びに来れるきっかけ作りに

3:誰も取り残さず、未来に興きたいアイデアが自然に湧き出るような居場所に



孤独な生活を強いられたアリは 寿命が短縮し異常な行動をとりはじめます

集団で生活するアリ 孤独に暮らすアリ

酸化ストレス
行動パターンの変化
寿命の短縮

健康で長生き 異常行動&寿命短縮

Phase 1 令和4年度 基礎作り

- ・町内から“孤独”を無くそう
- ・誰も取り残さない

Phase 2 令和5年度 「誰も取り残さない地域の居場所」

- 庭先ウッドデッキ
- ・皆が集まる事が出来る設備の製作
- みんなが集まる場
- ・皆で談話室等交流の場の企画

◆「ございん八木山」プロジェクトによる地域課題解決・活性化事業 ～継続事業としての全体のスキームとステップ～

令和5年度（2年度）以降

令和4年度（初年度）

土地家屋の無償譲渡・社団法人化

- ◆土地家屋の無償譲渡に向けた取り組み
- ◆一般社団法人 ございん八木山設立
- ◆土地家屋の譲渡

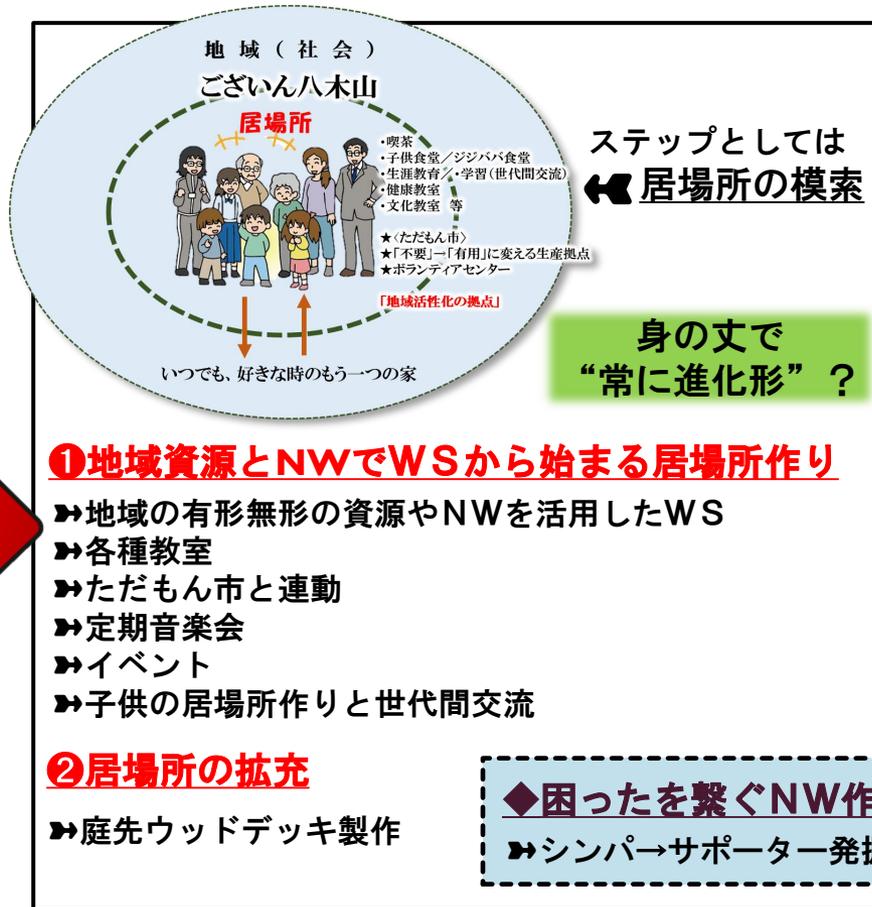
無償譲渡会・ただもん市

- ◆無償譲渡会「ただもん市」の開催
- ◆寄贈・譲渡受け 両者win-winの関係
- ◆令和4年度7回実施（既実施 5回）
- ◆新聞・ラジオ・TV コミュニティ紙

居場所WS

- ◆誰も取り残さない地域の居場所作りWS
- ◆年6回のWS開催（わいわい会議）
- ◆東北工大生・中学生に実施

法人の立ち上げと
「まちの居場所」機能の模索（WS）



◆計画時に策定した協働の役割

再掲

【一般社団法人 ございん八木山】

- ▶会員数 正会員11名 賛助会員11名
(11月現在：絶賛会員拡大営業中)
- ▶活動内容 ① “困ったを繋ぐNW作り”
② 町の “居場所” 作り
③ 上記① & ② で 「ただもん市」
- ▶エリア 八木山東町内会 (230世帯)
▶八木山連合町内会 → 仙台市近郊
- ▶拠点 一般社団法人の設立 (8月2日)
土地家屋の無償譲渡 (8月28日)

【強み】

- ・ 太白区最大規模の高齢者ネットワーク (ございん八木山は老人クラブが母体)
- ・ 高齢化に伴う課題を多数把握している

【弱み】

- ・ 居場所としての機能役割について未経験
- ・ ワークショップ運営に不安

東北工業大学

【地域のくらし共創デザイン研究所】

- ▶研究メンバー 特命教授・准教授
(学生など20名 他25団体)
- ▶活動内容 ① 地域コミュニティの支援
② 地域の有形無形資産の発掘
③ WSやサロン、物作り講習
- ▶エリア 仙台市内・宮城県内 (登米・雄勝等)
- ▶拠点 東北工業大学
(長町・八木山キャンパス・一番町ロビー)

【強み】

- ・ 学生などが世代間交流により、若者の発想でマンパワーを取り入れることが出来る
- ・ これまでのNWを活用することが出来る

【弱み】

- ・ 学生などの若者は継続的な参加が難しい
- ・ 学生などの若者は知識や技術が未熟

地元根ざした「ございん八木山」と「地域のくらし共創デザイン研究所」のパワーとノウハウでコラボします

◆課題の把握（高齢者×地獄坂×貧困家庭の増加）

- ▶後期高齢化率が19.13%(R2)！仙台市の小学校区単位で120区中13番目。
- ▶八木山地区はほぼ坂しかない！（住民からの呼称は自嘲気味に“地獄坂”）
- ▶孤立しがちな高齢者を見守る力＝地域内で助け合う仕組みづくりが必要！

人口オーナス

- ・高齢化の流れは不可逆
- ・財源不足→地域力強化（地域包括ケアシステムの本質）

NEW ▶世代間交流がなく、子供たちの生活技術力の伝習の場がない。

- ・Y中 不登校児 7%
- ・塾に行ける子、行けない子での格差
- ・地域食堂利用 20人

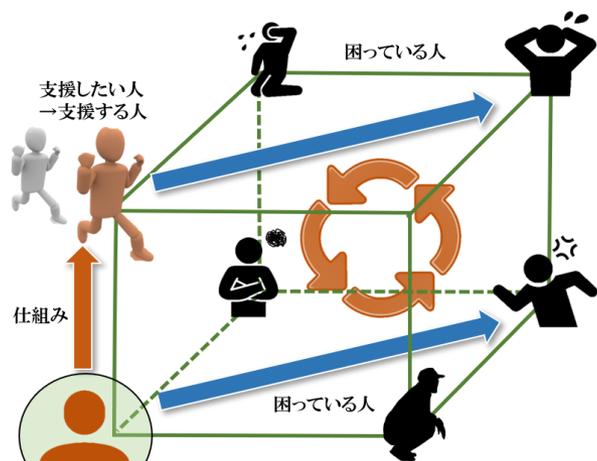
NEW ▶貧困家庭・一人親世帯が増加か？ 行き場のない子供たち

◆事業の目的

皆が生き生きと生活できる環境を作り「社会的包摂の場」を実現したい！

支援したい人を“支援する人”に変える三次元の取り組み

「ございん八木山」は立体回転の搅拌机・エンジン

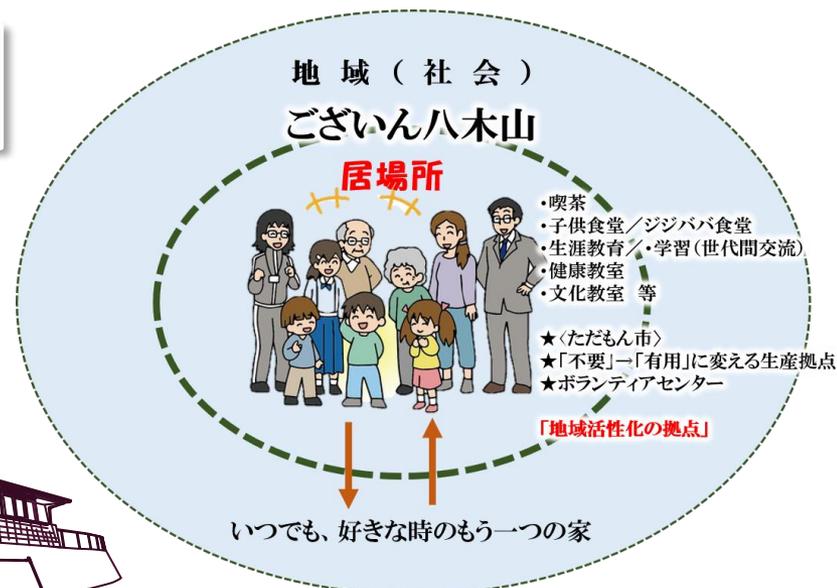


ございん八木山

支援する人／支援したい人を後押しする仕組み

社会的包摂の場
を実現！

リアルな活動拠点がある良さを活かす



令和4年度は基礎作り➡令和5年は“町の居場所作り”

ただもん市(年4回程度) + 居場所づくり

令和4年度はいわゆる基礎作りの段階、令和5年度はいよいよ町の居場所として、地域や世代を超えた交流の場としての色んな仕掛けを実行していきたい。わいわい会議で提示されたアイデア・希望、また、ただもん市での肌感覚の意見などを踏まえ、ステップバイステップで実行していきたい。

<p>①庭先ウッドデッキの設置</p>	<p>パートナーシップ協働助成金を活用し、東北工業大学や企業の協力、ボランティアで庭先ウッドデッキを設置し、誰でもが立ち寄れる場所とする。</p>		
<p>②wifi環境の整備</p>	<p>これからガラケーが無くなる時代を見越してスマホを誰でもが使用できるようにwifi環境を整備する。</p>		
<p>③休眠人材の発掘 =ボランティア募集</p>	<p>色んなイベントやワークショップなどを企画し実行するためには皆様のお力が必要です。各人の都合やスキルにあわせて登録していただき、必要な時にお手伝いをしていただけるボランティアを募集する。</p>		

居場所施策	内容	参加費	スタッフ
<p>目玉施策</p> <p>①みんなで談話室 (目的は世代を超えた交流)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回土曜日開催 ・子供が主役 ・大人も誰でも参加自由 ・大人も勉強/子供も勉強 ・息抜きの場 	<ul style="list-style-type: none"> ・無料 ※夏休み特別企画は有料 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア ・東北工大生 ・メエメエグループ等 <p>※あてにしていた留学生がジンバブエに帰国</p>
<p>②スマホ教室 (講師は中学生！)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年3～4回程度開催 ・誰でも参加 ・一回10人くらい ・講師には中学生も！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・有料500円 ・無料 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生ボランティア ・東北工大講師 ・東北工大生 ・ボランティア

居場所施策	内容	参加費	スタッフ
③終活教室	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回程度 ・人生の卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・有料300円 ・無料 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政書士ボランティア ・地域包括支援センター
④三遊亭大王講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・渡辺一雄先生 (日本フィテンスロピー研究所長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・有料300円 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の団体と共催か (検討中)
⑤健康相談会	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回程度 ・筋肉をつくり、骨を強くし…… ・口腔フレイル ・子育て相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・無料 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・ボランティア ・仙台赤門短期大学の支援
⑥手わざ講習会 (大人の本気！)	<ul style="list-style-type: none"> ・各2回程度 (1)包丁砥ぎ教室 (2)箸づくり教室 (3)ハーブものづくり教室 (4)牛乳パックあれこれ利用法 (5)紙独楽作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・有料300円 ・無料 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア ・東北工大教授 ・東北工大生
⑦アジサイ手作りアート (地域資源の活用) (あじさい公園)	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・有料500円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア ・どんぐり隊長(高田さん)
⑧ドンぐリ・松笠アート	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・有料500円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア ・どんぐり隊長(高田さん)

※どんぐり隊長は太白区
から引っ越してしまった

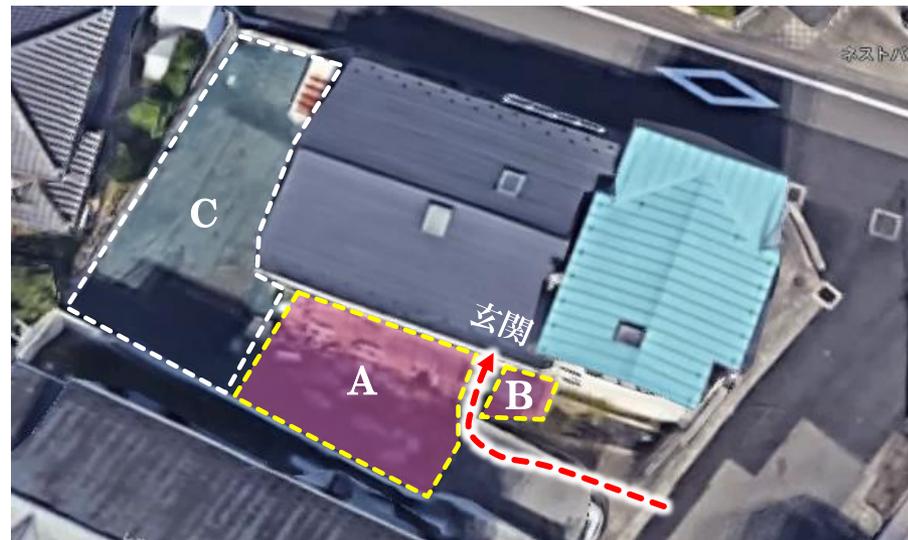
※居場所施策は4～5月の調整機関・周知期間を考慮し、6月あたりからスタートすることとしたい

◆譲渡された土地家屋は、こんなところ！

再掲（整理）

- ➔土地 約100坪
- ➔家屋 軽量鉄骨平屋＋木造2階建て 134.92㎡
(築54年) (築44年)

※庭 A B は危険であり整備しなければ居場所としての使用に難がある。
→庭先ウッドデッキの製作



◆庭先ウッドデッキ(A 18㎡)の製作



that's great

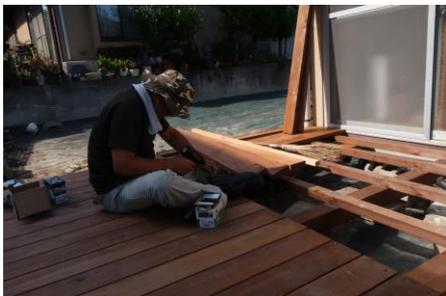


完成披露芋煮会(10/8)

7/14津山での製材からスタートした大変な作業。9月末までの2か月半、史上最も暑いさ中のウッドデッキ工事。大きい石は移動が困難。従って、土を掘って石を埋めてウッドデッキの高さまで調整する作業など、知恵とアイデアで素晴らしいウッドデッキが出来上がりました。完成披露芋煮会では約50名の方にウッドデッキの完成を祝っていただきました。



苦闘の記録→



◆庭先ウッドデッキ(B 2㎡)の製作

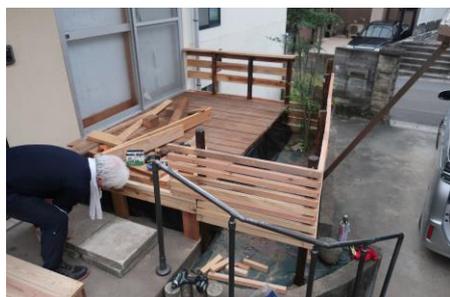
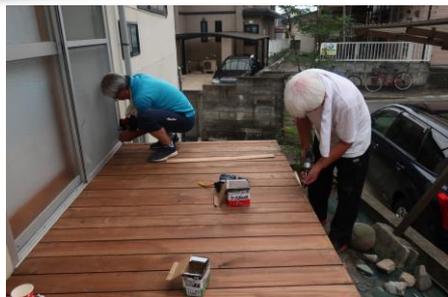
この防草シートが敷かれた小さな敷地が、このように生まれ変わるとは誰も予想をしていませんでした。転落防止の柵でデザインを考慮した庭先ウッドデッキ、こじんまりと会合するには最適なウッドデッキとなりました。



画竜点睛的看板の(おねだり)設置



苦闘の記録 →



画竜点睛

◆居場所としての設備はひとまず完成



★残るは約20坪の敷地(防草シートが貼られている部分)➡(案)果樹園?

◆居場所としてのイベントの実施

イベント	回数等	具体的な日程
無償譲渡会 ただもん市	年4回 (日曜日)	8/27 10/29 1/28 3/24 (持ち込み日は前日)
みんなで談話室 10:00～15:00	第4土曜日 無償	8/26 9/23 10/28 11/25 12/23 1/27 2/24 3/23
スマホ教室 13:00～15:00	年4回 無償	(初級)9/13 11/15 (中級)10/11 2/14
八木山東保健室 13:00～15:00	年3回 無償	9/16 11/18 2/17
終活教室 10:00～12:00	年3回 無償	10/21 12/17 1/23
手わざ講習会 13:30～16:00	9/9ハーブものづくり教室 11/4牛乳パックあれこれ利用法 11/11包丁砥ぎ教室 12/16孟宗竹教室 1/20箸づくり教室 2/3紙独楽作り	※令和5年度は、仙台市の「地域パートナープロジェクト推進事業」の助成金を活用して行いますので、参加費(講師料・材料代等)は無料としています

現在は“寺小屋サイズ”

◆ 皆が生き活きと触れ合う環境を作り「社会的包摂の場」の実現！

〈みんなで談話室〉



・三歳児と遊ぶサポーター(主任児童委員)



・小学生の夏休みの宿題を教えている大学生
・高齢者と談笑するサポーター



・急遽スマホ教室(大学生と高齢者の交流)



・高峰三枝子“湖畔の宿”合唱後に大爆笑(レコード鑑賞)

〈スマホ教室〉 何回聞いても答えます



長年の難問解決で大感激

〈八木山東保健室〉



講師は元宮城県看護協会会長



◆令和5年度 事業予算執行状況

1 事業収支予算

収入の部	収入科目	予算額		内訳
	協働実践事業助成金	1,170,000	円	
	(一社) ございん八木山	730,000	円	
	手数料収入	200,000	円	WS参加料・ジモティ⇨メルカリ/ヤフオク・WS製品売上 ※これらの収入は厳しい(ただもん市の持ち込み減少)
	合計	2,100,000	円	

支出の部	助成対象経費	支出科目	予算額		内訳
		人件費	300,000	円	ございん八木山人件費 (10万円×3人)
		報償費	550,000	円	東北工業大学等WS運営委託 ★ノウハウ習得や人材発掘(サポーター)で自立へ ※東北工大と包括委託契約締結
		旅費		円	
		消耗品費		円	
		印刷製本費	100,000	円	A4 中綴じ8P フルカラー 6,000部 A4 二つ折り4P フルカラー 1000部 ※10万円はオーバーする見込み
		通信運搬費		円	
		その他の経費	750,000 350,000		庭先ウッドデッキ(材工@5万円/m ² ×20m ²)=100万円 立ち上がり壁(フェンス)20万円 看板・告知版=10万円 ※実質130万円をvolunteerで予算内で収める予定
		小計 ①	1,300,000	円	
		助成対象外経費 ②	800,000	円	
合計(①+②)	2,100,000	円			

2 助成金申請予定額

①×0.9	
1,170,000	円

助成金申請予定額(千円未満切り捨て)	
1,170,000	円

◆今後の取り組みの課題と方向性

共創 + 協働

★ひと中心の地域づくりで重要なことは「共創」であると考えています。今、地域に残っているのは、1つの専門性だけでは解けない複雑な課題ばかりです。その解決には、さまざまなプレイヤーとの協働が必須と考えています。単に一緒に組むだけではなく、課題感や目標を共有して、成果を持ち寄り、みんなでもう一度考えるという共創サイクルをいかに構築するかが大きな課題だと考えています。

丁寧 + 納得感

★重要なことの二つ目は「丁寧」さだと考えています。関わるプレイヤーが広がった分、それだけ合意形成のハードルは上がります。未来のビジョンの共有に加えて、編み物を編むようなきめ細やかさや丁寧さをもって、一人ひとりの納得感を積み重ねることが求めらるると考えてます。